

	コンテナ流出の可能性	コンテナヤードと防 潮堤までの距離 (最短距離)	堤防への衝撃力の考え方
東京港	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地盤高 T.P.+5.2 ~ 8.1m</li> <li>・計画高潮位 T.P.+5.2m ~ 6.2m</li> <li>・積み上げ段数 3 ~ 4段程度</li> <li>・流出浸水深*1 0.6m</li> </ul>	<p>約0.6km</p> <p>ただし、中間の地盤高は計画高潮位以上。</p>	<p>流木などの漂流物の衝突を考慮。風向や地形を考慮し、5kN/m ~ 20kN/mの衝撃荷重を設定している。</p>
名古屋港	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地盤高 T.P.+3.5 ~ 6.6m</li> <li>・計画高潮位 T.P.+4.0m</li> <li>・積み上げ段数 3 ~ 4段程度</li> <li>・流出浸水深*1 0.6m</li> </ul>	<p>約1.3km</p>	<p>考慮していない。</p>
大阪港	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地盤高 T.P.+2.7 ~ 3.6m</li> <li>・計画高潮位 T.P.+3.7m</li> <li>・積み上げ段数 3 ~ 5段程度</li> <li>・流出浸水深*1 0.6m</li> </ul>	<p>約1.0km</p>	<p>流木などの漂流物の衝突を考慮。堤防をA ~ Cランクに分類し、各ランクごとに1スパン(10m程度)あたり50kN ~ 200kNの衝撃荷重を設定している。</p>

\* 1:空コンテナ(20フィート)が流出する浸水深さ。「大規模地震津波対策検討調査報告書」(財)沿岸センターによる。

# コンテナヤード状況(東京港)



# コンテナヤード状況(名古屋港)

## 金城埠頭

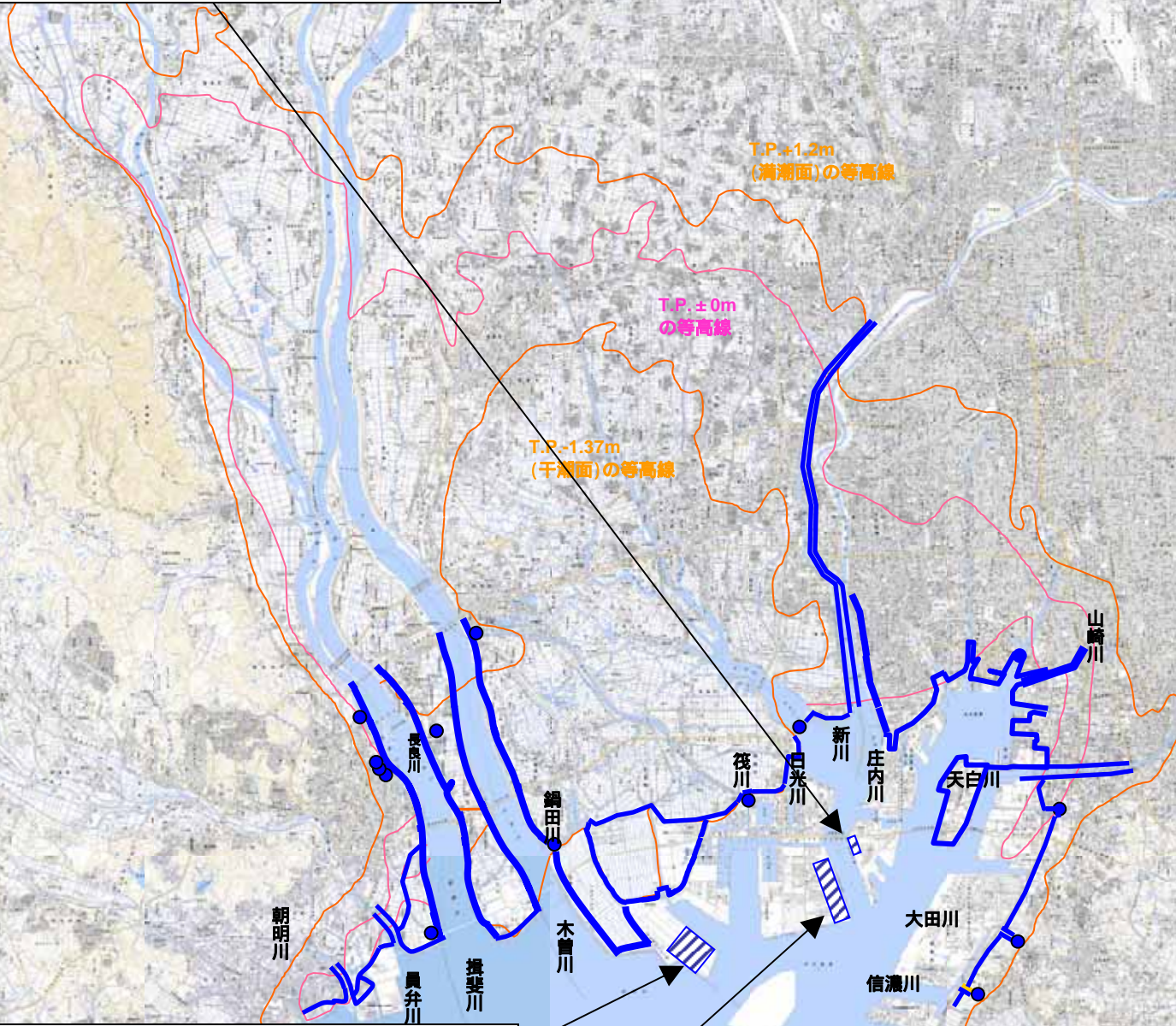
地盤高 T.P.+3.5m ~ 3.9m  
 計画高潮位 T.P.+4.0m  
 積み上げ段数 概ね 3 ~ 4 段程度  
 流出浸水深 0.60m

ゼロメートル地帯を守る  
 外郭防潮堤・水門等

外郭防潮堤

水門・機場

コンテナヤード



## 鍋田埠頭

地盤高 T.P.+4.2m ~ 6.6m  
 計画高潮位 T.P.+4.0m  
 積み上げ段数 概ね 3 ~ 4 段程度  
 流出浸水深 0.60m

## 飛島埠頭

地盤高 T.P.+3.7m ~ 4.9m  
 計画高潮位 T.P.+4.0m  
 積み上げ段数 概ね 3 ~ 4 段程度  
 流出浸水深 0.60m

# コンテナヤード状況(大阪港)

